

1	池谷・入山モデル作り事業
1－1	山清水米直販
・平成 30 年産米 山清水米の全生産者が新潟県の「特別栽培米」の認証を取得し、農民連に 98 俵 (5,880kg)、食と農を考える飛渡の会（食農会）に 52.5 俵(3,150kg)出荷致しました。一般販売分としては、「山清水米」7236.05kg, 「超特選 農薬・化学肥料不使用『山清水米』はざ架け米」（以下はざ架け米）330kg（平成 30 年 10 月中に予約分で完売）を出荷致しました。 ・令和元年産米 農民連に 70 俵 (4,200kg)、食と農を考える飛渡の会（食農会）に 200 俵(12,000kg)出荷致しました。一般配売分としては 3 月末時点の発送済と予約分で 7383.15kg、はざ架け米 601kg の販売量となっています。令和元年 12 月より十日町市のふるさと納税の返礼品の候補として取り扱っていただけることになりました。	
1－2	農業生産
2019 年度は田んぼの面積がさらに増え、4 町 8 反 1 畝の田んぼを耕作することとなりました。収量は前年度よりは良かったですが、十分とは言えませんでした。また、夏場穂が出てからの高温と雨が降らず水不足であった事により、乳白米が多くなりました。今後の対策としては、土壌分析と現地指導をしてくれる肥料屋さんにアドバイスを頂きながら進めていく事で改善したいと考えています。 また、長年の念願であったライスセンターがついに建設できました。これにより、集落の高齢世帯から引き継いだ田んぼの収穫期にある程度の量の米を扱えるようになり、作業効率が良くなりました。効率が良くなった事で、秋のうちに翌年の作付の準備に時間を使い、より良い米作りができるようにしたいと思います。	
1－3	加工品
山清水米白がゆは東京・兵庫の神社様から継続して注文いただいております。注文量・回数も増加しています。	
1－4	体験交流
2019 年度は 6 回の体験イベントを開催し、のべ参加人数は 95 名となりました。年間交流人口は 608 名でした。 春夏秋冬の季節のイベントと、田んぼへ行こう！を 2 回開催しました。季節のイベントでは、山菜採りや野菜収穫などその時期に体験できることと旬の食材の料理を楽しんでいただきました。2019 年度は例年にない少雪の年となりましたが、なんとか雪を集めてかまくらを作り、かまくらの中でかき氷を食べることができました。「かまくらでかき氷を食べる会」の様子は、地域おこし YouTube でも紹介しているのでぜひご覧ください。 イベント以外にも 2019 年度は学生団体の受入や、企業研修の受入を実施しました。企業研修の受入では、サツマイモ掘りでチームビルディング研修など池谷集落だからこそできる内容が好評でした。今後受入件数を増やしていきたいと考えています。 また、7 月 7 日に「やまんなかマルシェ」の会場として池谷分校を提供し、200 人が来場しました。	
2	地域おこし応援事業
2－1	視察・講演・研修会

・視察 新潟県内・県外から 11 団体 115 名の方にお越し頂きました。 ・講演 23 会場に訪れ、1289 名の方に聞いて頂きました。	
2-2	地域おこし応援活動 2017 年度に新潟県の「地域の話し合い促進事業」でワークショップを行った魚沼市守門地域の地域づくりに関して当年度も引き続き支援の依頼を受け、年間 9 回訪問して、地域づくりのサポートを行いました。その結果、元気すもんプロジェクトとして直売所が本オープンし、冬季を除いて年間週末に営業するようになりました。 魚沼市の入広瀬に年間 10 回訪問して地域の話し合いを行い、3 月に関係人口を増やすためのツアーが企画されましたが、残念ながらコロナウイルスもあり、開催は中止となりました。 柏崎市の高柳の栃ヶ原集落で地域の話し合い促進事業を行い、2 月に雪国ふれあい交流事業で外からの交流の受け入れを行いました。 また、新潟県内の地域づくり研究会で地域づくりコーディネーター育成 OJT 研修を行い、受講者には柏崎市高柳での話し合い促進事業に同席頂き、地域づくりの現場に立ち会ってもらい、受講者からは座学だけでは学べない地域づくりのコーディネートについて実践的に学んでももらいました。 新潟県地域政策課の主催する地域づくり研究会に事務局長の多田が専門家として参加し、新潟県の地域づくりに関する施策検討のアドバイスをしました。また、出張サポートデスク事業で新潟県内の自治体の地域づくりの相談にも乗りました。その一環で、佐渡で外部人材受入れのセミナー運営を依頼され、実施しました。 富山県からの仕事の依頼も来るようになり、富山県の黒瀬谷地区での地域の話し合い促進事業で 3 回訪問して地域住民のワークショップ運営を行いました。また、富山県の地域おこし協力隊の合宿研修を池谷分校で行いました。 行政とのつながりだけでなく、事務局長の多田が十日町商工会議所青年部で地域ビジネス委員会の委員長として活動しました。
2-3	十日町市への移住促進 7 月 7 日にいがた UI ターンフェア、9 月 8 日にふるさと回帰フェアの十日町市のブースに十日町市役所企画政策課と一緒に移住相談対応をしました。